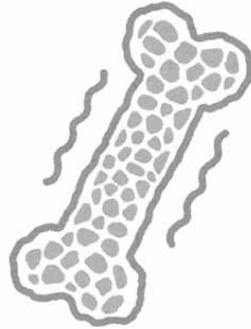




こつそしょうしょう 「骨粗鬆症について」

骨粗鬆症とは、骨の中がスカスカの状態になり、骨がもろく壊れやすくなる病気です。

骨がスカスカになると、しりもちなどのわずかな衝撃でも骨折をしやすくなります。



ホルモンの分泌バランスが変化する更年期以降の女性に多く、60代女性の3人に1人、70代女性の2人に1人が骨粗鬆症であるといわれています。自覚症状はなく、骨折して初めて気付くケースも少なくありません。

骨粗鬆症の高齢者が骨折しやすい部位としては

- (1) 背骨（胸腰椎圧迫骨折）
- (2) 股関節（大腿骨近位部骨折）
- (3) 手首（橈骨遠位端骨折）
- (4) 肩（上腕骨骨近位部骨折）

などが挙げられます。

【検査について】

- 背骨のレントゲン検査
- 採血検査

この2つを検査します。検査は月曜日～金曜日の午前中に行っています。

現在当院では骨密度検査は測定できません。

るので、健診などで検査を行った方はその結果もご持参ください。

検査結果は後日、医師から説明します。

【治療について】

骨粗鬆症と診断されれば、検査の結果や年齢などに応じて

- 内服薬（1日1回、週に1回、月に1回など）
- 注射（週に1回、月に1回、半年に1回など）

以上の治療を単独、または組み合わせて行います。

骨粗鬆症でスカスカになった骨は軽く転んだだけでも骨折してしまいます。

特に背骨や股関節の骨折は寝たきりや肺炎、死にもつながります。

ぜひ一度ご自分の骨を調べてみましょう。

適切な治療により、骨粗鬆症の進行をくい止めることができます。



大間病院の年末年始休診日のお知らせ

12月	27日(金)	28日(土)	29日(日)	30日(月)	31日(火)	
	診療	休診	休診	休診	休診	
1月	1日(水)	2日(木)	3日(金)	4日(土)	5日(日)	6日(月)
	休診	休診	休診	休診	休診	診療

※12月28日(土)から1月5日(日)まで、年末年始のため休診とします。

なお、救急患者については随時受付します。

【お問合せ】 国民健康保険 大間病院 ☎37-2105